

令和6年度 組織重点目標一覧

課名	組織目標	係名	具体的目標	達成水準	達成状況	達成状況評価
地域福祉課	全ての町民が、地域福祉の向上と障がい福祉の充実を実感でき、地域で支えあえる環境整備を推進し、全ての町民が住み慣れた地域で日常生活を営むために、保健・医療・福祉・介護のサービスを一体的に提供できるような包括的支援体制の充実を図る。	福祉総務係	『地域福祉計画』の基本理念のもと町民一人ひとりが年齢や性別にとらわれることなく、住み慣れた地域の中で、充実した生活を送ることができるよう、相談支援の充実を図り、各機関とネットワークを構築する。	1 支援団体と連携を図り柔軟な対応ができるよう情報交換会等の実施する。【年2回】 2 社会福祉協議会の活動状況を定期的に確認を行う。【年2回】 3 様々な支援制度について、情報を発信し町民に周知していく。【随時】	1 生活困窮者の相談に応じて、宮城県自立相談支援センター及び仙台保健福祉事務所と連携し、生活保護の申請受付等を行った。 2 社会福祉協議会の活動状況及び運営状況について、年2回ヒアリングを実施し、懸案事項や課題等について確認した。 3 広報紙、HP、LINE等を活用し、支援制度について町民に周知した。特に臨時給付金について、対象者・書類の提出期限等についての周知に努めた。	B
		障がい福祉係	『第5期障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画』に基づき、情報提供の充実や障がい者理解及び差別解消の推進、関係機関との連携に努め、障がい者（児）が安心して生活できる環境づくりや障がいを通じた支援体制の構築を図る。	1 障がい理解についてや差別解消に関する講話会を実施し、理解促進を図る。【年1回】 2 障がい及び制度に関して、広報やホームページ等を活用し、啓発普及を行う。【随時】	1 東北福祉大学の教授を講師に、障がい者理解や差別解消に関する講演会を初めて開催し、障がいに対する理解促進を図った。58名の参加者があり好評であった。また近隣3市町と共同で実施した手話奉仕員養成講座では、利府町の修了者4名が手話奉仕員として登録した。 2 「障害者週間」の周知のほか、ホームページに制度やサービスについて随時掲載し、啓発普及に努めた。また、身体障害者手帳の申請様式をダウンロード可能にし、障害者医療助成の保険変更申請をWebで手続きできるようにするなど、利用者の利便性向上を図った。	B
		介護福祉係	『高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画』に基づき、高齢者が必要な医療・介護を受けながら、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう持続可能なサービスの提供に努めるほか、高齢者の心身機能の向上を目的とし、各種介護予防事業を実施し、適正な介護保険事業の運営に努める。	1 介護保険制度や介護サービス等の周知をホームページや広報紙等を活用し行う。【随時】 制度改正等があった際は、速やかにホームページの更新を行い住民等に周知する。 2 町認定調査員と定例的に打合せを行う。【年12回】 3 各種介護予防事業を実施する。【随時】	1 高齢者介護・福祉ガイドブックやパンフレット、各種介護保険関係のチラシを窓口や新規介護保険被保険者（65歳到達）に配布し、制度の周知を行った。また、ホームページや広報紙に介護保険制度や介護サービス等の掲載を行った。 2 毎月（計12回）認定調査員との打ち合わせを行い、認定調査の進捗状況の確認等を行い、適正な介護保険認定調査業務の進捗を図った。 3 介護予防事業として、介護予防教室（健康麻雀、筋トレ、フレイル予防、脳力アップ）を実施した。	B